



広報

№.236

～ 文教のまち西原 ～

にしはら

町の世帯・人口

平成4年9月末現在

世帯数	8,168戸
人口	26,748人
男	13,675人
女	13,073人

9月の人口移動

出生	38件	死亡	5件
転入	84件	転出	65件
婚姻	14件	離婚	3件

編集・発行/西原町役場企画課(広報係) 西原町字嘉手苅112番地 ☎098(945)4533 印刷/(協)丸正印刷



とじて保存すると便利です

体育の日 軽スポーツ 楽しむ

町民の健康づくりと相互の親睦を図るため、第3回町グラウンドゴルフ大会が10月10日、町民陸上競技場で行われました。

競技方法は、団体及び個人競技で、16ホールの総打数で順位を決定。地域、家族等6人で1チームを編成し、約200人が参加。個人(小学生、中・高校生、一般男子、一般女子、高齢者)15人及び団体2チーム、ホールインワン賞5人がそれぞれ表彰され、体育の日、軽スポーツで楽しく過ごしました。

21世紀を創造する人間性豊かな「文教のまち西原」

平安恒政 町長就任式

三期目 初登庁に拍手で出迎え

三期連続無投票で五代目の西原町長に当選した平安恒政氏の就任式が、十月六日午前九時、町役場二階会議室で開催されました。



町職員に拍手で迎えられた後、あいさつする平安恒政町長

就任式には、町役場職員のほか城間光雄議会議長、奥那嶺浩教育委員長、長嶺由光農業委員会会長らが出席。初登庁する平安町長を温かい拍手で出迎えました。

就任式では、まず、職員を代表して小川助役が歓迎のあいさつ。次に城間議会議長が激励の言葉を述べた後、町役場職員から花束が贈られました。

あいさつの中で平安町長は「無投票で当選できたのはささえてくれた全職員のお陰である。バブルがはじけて国内の経済が落ち込んでいるため、今後自治体の財政も厳しくなることが予想されるが、職員には①創意工夫を忘れず②協調精神をもって③健康を大事にしながら頑張してほしい。今後とも『反戦平和』『町民参加』『対話行政』を基調に初心

を忘れず頑張りたい」と就任にあたっての決意を述べました。

なお、平安恒政氏の三期目基本姿勢と重点施策は次の通り。(要旨)

- 一、「非核反戦平和都市宣言」を尊重し、反戦平和の町政を推進。
- 二、町民本位の真の地方自治を推進。
- 三、生活環境の整備と調和ある地域開発を進め、快適な町づくりを推進。
- 四、産業を振興し、活力ある町政を推進。
- 五、社会福祉を充実し、生きがいとぬくもりのある町づくりを推進。
- 六、女性行政を推進。
- 七、教育、文化、スポーツの振興を図り、文化の高い文教のまちづくりを推進。
- 八、交流事業等を推進し、青少年の健全育成を図る。
- 九、サンライズマリニア事業を推進し、二十一世紀に向けて新しい町づくりの展開を図る。
- 十、総合庁舎並びに町民会館等の建設を推進。

多大な実績と手腕が評価

平安恒政西原町長(三期目)就任激励会が十月六日午後、町中央公民館で開かれ、にぎわいました。

参加者は町民をはじめ町内外から約八〇〇人。八年の実績を評価し、三期連続無投票当選の快挙を喜び「おめでとうございます」の言葉が館内から沸き上がりました。

あいさつに立った平安町長は「重点施策として総合庁舎の建設やサンライズマリニア事業、図書館の建設などを推進し、住みたいまち行きたいまち ひとが輝く二十一にしはらを目指し頑張りたい」と述べました。



花束を受け取る平安恒政町長・信子夫人

「夜あそびで 若い豊かな人生 滅ぼすよ」西原小5年 渡久地政哉



感謝状贈呈のよう

平安会長は「西原小学校は、学業、スポーツ、文化活動で優秀な成績をおさめ、PTA活動も活発である。百十年の歴史と校風を今後とも継承発展させてほしい。また、人口急増地における教育環境整備は急務であることから今後とも

歴史と校風を継承発展

西小創立110周年祝う

西原小学校創立百十周年記念式典が十月三日午後三時から同校体育館で行われました。

PTA会員や学校職員、関係団体職員、来賓、同窓生ら約二百人が参加し、百十年の歴史を祝いました。

記念式典では、宮平昌信期成会副会長の開式のことばに始まり、与那嶺正治期成会事務局長の経過報告、平安恒政期成会会長の式辞、島袋宗正学校長らがあいさつ。その後、平安期成会長から記念品目録贈呈が島袋学校長に対し行われ、個人三十四人、八団体に感謝状が

手渡されました。

あいさつの中で

三人がカジマヤー迎える

健康には豆腐が一番

今年、本町でカジマヤー(九十才)を迎える方は三人いらつ



平安町長から記念品が送られた

今年、本町でカジマヤー(九十才)を迎える方は三人いらつ。平安町長は「西原小学校は、学業、スポーツ、文化活動で優秀な成績をおさめ、PTA活動も活発である。百十年の歴史と校風を今後とも継承発展させてほしい。また、人口急増地における教育環境整備は急務であることから今後とも

設備の充実に向けて努力したい」と述べました。また、児童代表の兼次瑠理子さん(西小六年)は「歴史ある学校で勉強できることを誇りに思う」と喜びをいっぱい表しました。

なお、感謝状の受賞者は次の通り。

▽歴代校長・喜屋武清、高良

武治、島袋宗正▽歴代PTA会長・当間嗣貞、新垣正広、當間清子、屋宜宣太郎▽百十周年期成会・平安恒政、與那嶺浩、新川雅博、宮平昌信、宮里憲幸、上原義人、与那嶺正治、比嘉武範、新島悟、大城誠一、我謝孟功、富春治、平良信子▽百周年期成会・糸数昌源▽大口寄付(団体の部)

三善建設(株)、南西石油(株)、金秀グループ、中部製糖(株)、沖電水工事、(有)明生建設、西原農協、久互会(個人の部)城間哲男、喜屋武清、島袋宗正、新里吉一、宮里憲幸、金城哲男、牧野博司、呉屋永得、平敷静男、与那嶺正治、城間期一、屋宜宣太郎、宮平巖



大城孝敏
字与那城240-1



糸数三良
字翁長64



糸嶺マカト
字幸地981(1-104号)



友だちが増えました

町スポーツ少年団リーダー研修会が9月12日から13日までの2日間、玉城少年自然の家で開かれました。

これは、地域における団活動の活性化とリーダーの資質の向上を図ることが目的。講師に宮里芳男さん(県スポーツ少年団育成指導員)、新川千代子さん(町体育指導員)を招いて研修。参加者約100人が笑いあり、緊張感ありの宿泊研修を通して交流を深めました。

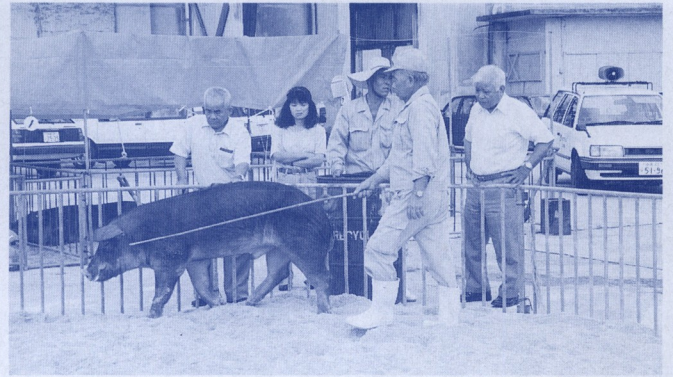


西原クラブ(ママさん)1部で優勝

第18回九州ママさんバレーボール優勝大会県予選が9月15日町民体育館で行われ、1部で西原クラブが見事優勝しました。

10月2日午後、部員らが優勝カップと賞状を持って平安町長に対し凱旋報告。昨年は2部で優勝し九州大会では第3位の成績を納めたことから、11月20、21日に鹿児島で行われる九州大会への決意をみせました。

おめでとうございます。



わー(ウワー)ふとっているね

町農業協同組合主催、町畜産共進会が9月25日、中部製糖(株)敷地広場で行われにぎわいました。

今年の出品数は牛が38頭、豚が8頭。朝早くから家畜農家が集まり日ごろの飼育管理の技を競いました。あいさつに立った宮平定昌農協長は「畜産農家にとって輸入自由化でますます厳しくなるが、高品質であれば生き残れる」と激励。また出展された牛や豚を見て平安町長も畜産農家を激励していました。その後、優等10人、一等8人、二等9人、三等2人がそれぞれ表彰されました。

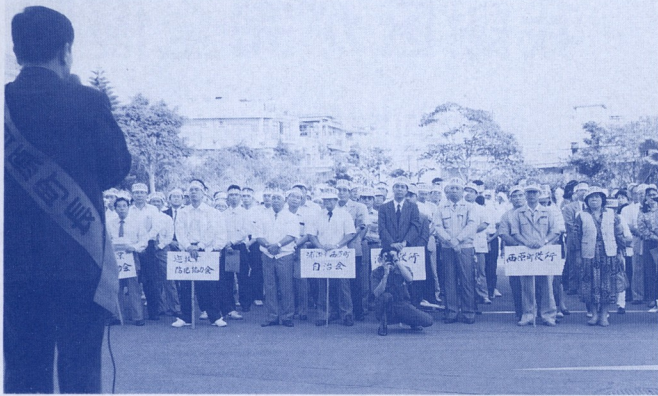


工事の安全を祈願

安室～池田線道路改良工事の安全祈願祭が、10月12日午後、字桃原工事現場で行われました。

(有)東洋建設(安谷屋秀夫代表取締役)が施工し、工事費が4千2百万円余。延長120mで幅員が10m。平成5年2月26日竣工予定。

安室～池田線は、那覇市や南部方面を結ぶ幹線道路で車両の通行も多いことから昭和62年度から年次的に改良工事をすすめ、今年度で終了する予定です。



暴力団を追放・侵入阻止

＝社会の敵 暴力団を許すな＝と第16回全国防犯運動浦添地区住民大会が10月9日午後、浦添警察署構内で開かれました。

これは10月11日から20日までの10日間、全国一斉に防犯運動が展開されることに先立ち行われたもの。参加者は婦人会や自治会、社交業組合など浦添市・西原町の地域住民ら約500人。あいさつの中で平安町長は「次代を担う青少年の健全育成のためにも暴力団を追放し、地域ぐるみで平和な社会を実現しよう」と述べました。



元気よくがんばった運動会

町立西原小学校（島袋宗正校長）、西原東小学校（井口善博校長）、西原南小学校（宮城義昇校長）3校では、9月27日さわやかな秋空の下で運動会がそれぞれ行われました。

各学校の児童らがかけっこやリレー、ダンス、団競組体操やエイサーなどを披露。朝早くから応援にかけつけた父母らが盛んな拍手を送っていました。特に我が子の出番になると、かけ声も一段と高くなり身を乗り出して応援していました。

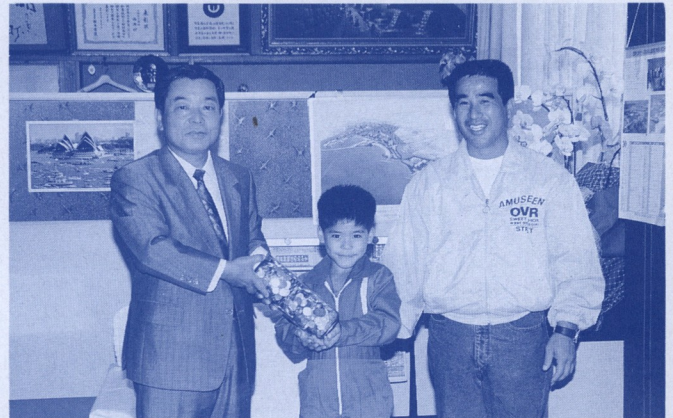


1トンの空ビン 空缶を収集

町老人クラブ連合会（呉屋安信会長）は、9月19日午前『社会奉仕の日』に

先立ち、国道329号線や県道・町道などのチリ・空ビン空缶の回収作業を行ないました。

23単位老人クラブからそれぞれ約20人が参加、各々の地区を担当。手袋とチリ袋を持って、朝早くから取り組みました。1トン分が回収されたことに呉屋会長は「運転手がもっとマナーを守って、まちをきれいにしてほしい」と話しました。



ピブリックが2万円余を寄付

ピブリック（高江洲義徳ポケットバイクレース運営委員長）は10月14日午後、町長室で町交通安全推進協議会会長（平安恒政町長）に対し、交通安全チャリティーレースの収益金の一部20,074円を寄付しました。

同レースは、9月27日沖縄サーキット（字内間在）で開催されたもので、その日はAクラスで優勝した前原秀次くん（越來小2年）も同席。あいさつの中で平安会長は「ご芳志は有効に使いたい。前原くん、安全な乗り方をお友だちにも教えてね」とお礼と励ましのことを述べました。

我謝区が完全優勝

第13回町陸上競技大会



力走に大きな声援が送られた

町体育協会(城間期一会長)主催、第十三回町陸上競技大会が、九月二十日町民陸上競技場で開かれました。

大会には、十九チーム約八百人の選手が出場。小学生リレーや中学生男女混合リレー婦人リレーも種目に取り入れ文字通りの『町民のスポーツの祭典』にふさわしい大会となりました。また、各チームの代表選手に朝早くから駆けつけた区民から盛んな拍手が送られました。

今大会では、陸上の部で男子・女子の部とも我謝区が優

勝。夏季大会(球技種目等)では、内間団地区が第一位の成績を納め、また陸上の部で四つの新記録が樹立されました。

なお、団体成績及び新記録樹立者は次の通り。

▽男子の部 一位・我謝区、二位・小那覇区、三位・坂田区
▽女子の部 一位・我謝区、二位・内間団地区、三位・小那覇区
▽総合の部 一位・我謝区、二位・小那覇区、三位・内間団地区
▽夏季大会の部 一位・内間団地区、二位・翁長区、三位・与那城区
▽新記録樹立者 四十代男子

走高跳・安里勝正・兼久区・記録一メートル六十五、女子円盤投安里優子・小波津団地区・記録二十五メートル〇六、六十代男子

百メートル・小橋川区・呉屋清昌記録十五秒九、年令別四百メートル・小橋川区・記録五十六秒三 (敬称略)

共同募金にご協力を！

ミス西原が一日町分会長

「赤い羽根は人々の善意の象徴です」と今年もまた十月一日から三か月間(十二月三十一日まで)共同募金運動が始まりました。その初日の午前、町社会福祉センター前で開始式が行われました。

民生委員や老人クラブ、福祉関係者ら約五〇人が出席。ミスブーゲンビリア大山清美さん、ミスサワフジ比嘉聡子さん二人が一日西原町分会長に委嘱されました。あいさつに立った宮平社協会長は「今年の本町の募金目標額が五百四十万円余。集まったお金は、福祉の活動資金になるので本運動にご協力を」と呼びかけました。また、激励に駆けつけた平安町長は「募金活動には、全体の理解と協力、助け合いの精神が必要。みんなで協力しよう」と述べました。



開始式(町社協主催)のもよう

その後、一日分会長になったミス西原二人を含む社協役員員らが三班に分かれ町内約百五十の事業所を訪問。共同募金への協力を訴えました。

美化コンクールを開催

「明るい環境づくりを進め、住みよい地域づくりを図ろう」と町婦人連合会(下地郁子会長)では町内の美化コンクール審査をすすめていたがこのほど最優秀・優秀賞が決まりました。

今回の審査は①花や木の活着状況②緑と花いっぱい運動地域への広がり③遊び場やその他の公共施設等の維持管理状況などを対象に実施。十月九日の最終審査の結果、最優秀賞に幸地支部が選ばれ、本町代表として十月十九日予定の中頭地区大会へ推薦されました。

なお、審査の結果は次の通り。

▽最優秀賞・幸地支部▽優秀賞・上原支部、小波津団地区支部、小波津支部、我謝支部



審査のもよう



手芸わかばサークル会員のみなさん

夢広がり魅力ある話題も

手芸わかばサークル

ちよつと

拝

見

コーナー

セーターやマフラー、人形や袋もの、パッチワーク、紙粘土、ペーパークラフトなど手芸全般にわたって一つひとつ手作りで仕上げていく……

☆

☆

さわやかな秋風が南国沖縄にも吹き始め、各地で芸術・スポーツの秋にふさわしい行事が催され、それぞれに自分の秋を過されていることでしょう。

さて私は、新しい年度を迎えると、「公民館利用のてびき」ともいうべき「町民の広場、私たちの公民館」というパンフレットが手元に届くのを楽しみにしている。自分の受講する講座を決めたためである。

子供が四人いて、昼間は仕事、おまけにPTA活動とく

今回は町中央公民館でサークル活動をしている『手芸わかば』を訪ねてみました。手芸講座を受け、修了した人たちが昭和五十八年九月にサークルを結成。以来、継続

して約十年。毎週月曜日午後二時から五時までの三時間、活動しています。会員は、現在六人。会費は月に一人千円。個人指導も可能のため、初心者も大歓迎です。

代表者の玉城園子さん（字翁長四百六十六番地の五）は「手作りの満足感はもちろん会話をしながら会員の親睦も図られる。話題も広がり、生活の知恵なども教え合っている

る。今ではストレス解消の場です」と話していました。家庭菜園の話題に集中しながらも、帽子（孫へのプレゼント）や手下げ袋、室内装飾などの手作業を休めない。三十代から六十代までの会員が和気あいあいと楽しそう……サークルに入会したい方は月曜日午後二時、直接会場におこし下さい。

町中央公民館 ☎ 四四五・三六五七

れば自分の趣味の為に遠くまで出かけることのできない私にとって、公民館講座はいくつもの講座の中から、内容、

離婚、親子関係等、日常生活の中で起りうる問題を取り上げ、講師の比嘉先生はわかりやすく解説してくださる。金

既存の施設を大いに利用しよう

エプロン通信員

山城美恵子

時間等自分のプランと合ったものが選べ、受講料が無料で有難い存在なのだ。

今年、五月の生花講座に続き現在、法律講座を受講中である。相続、遺言、結婚、

曜日の午後八時から十時はリッチな気分浸っている。公民館を利用（図書室も）

して思うことは、町民人口の割には利用者が少ない気がする。今年十七講座（大人）の

受講生が二百名前後、図書貸出カード登録者も町民全体の数パーセントだそう。よく「文教の町にしはら」にふさわしい町民会館、図書館の建設をと耳にする。早期実現を望むなら、町民一人一人が既存施設の利用率を上げることだと思ふ。（乳幼児をもつ親にとっては、受講中保育してくれる施設がなく不便ではある。親が楽しく生き生きと学んでいる姿は、子どもにとって無言の教育かも知れない。それがやがては、行政をも動かすであろう。

『町民の参加を呼びかけます』 「女性サミット」開催要綱

1. 趣 旨

本町は、これまで「女性の地位向上」を図るため、各種女性関係行政の推進に努めてまいりましたが、この度、さらに女性行政を積極的かつ総合的に推進するため「男女共同参加社会の確立」をめざした「女性行動計画」を策定いたしました。

女性行動計画策定後、最も重要なことは、今後、同計画に基づく具体的な事業を男女共同でどのように行動に移していくかにあると思われます。

男女共同参加社会の実現に向けて、男女平等観に立った人間形成の推進と、社会的風土づくりを進めていくためには、それらの実現を阻害する要因を改めていくことから出発していく必要があります。

幸い、全県下においても女性行政への関心は高まり、県においても女性政策室が設置され、本格的な女性行政へのスタートがきられました。

そこで、このような県内情勢を踏まえ、各地域の女性たちが一堂に会し、意見交換や地域間交流を深めることにより、町民一人ひとりが行動計画の意義を理解し女性の地位向上や21世紀にむけた男女共同参加社会形成の契機となることを目的として「女性サミット」を開催致します。

2. テー マ 「女と男がいきいきと輝く社会をめざして」

3. スローガン 「21世紀に向けて 女性の力を『今』」

4. 日 時 11月7日(土) 13時

5. 場 所 西原町中央公民館大ホール

6. 主 催 西 原 町

7. 後 援 ○西原町教育委員会 ○西原町社会福祉協議会 ○西原町婦人連合会 ○西原町民生委員・児童委員協議会 ○西原町普及事業連絡協議会 ○西原町商工会婦人部 ○西原町農協婦人部 ○町老人クラブ連合会 ○沖縄県婦人連合会

8. 協 賛 ○(株)沖縄タイムス ○中部広域市町村圏事務組合 ○琉球放送(株) (五十音順)

9. 出 席 者 ○各地区の女性代表 (北部地区、中頭地区、南部地区、那覇地区、宮古地区、八重山地区 以上6地区の婦人連合会から推薦された女性1名) (計6名)

○西原町女性代表 1名 (西原町婦人連合会の推薦) 以上計7名

10. 記 念 講 演 講師 金城清子 (津田塾大学教授)

11. 助 言 者 原喜美 (沖縄キリスト教短期大学長)、安里和子 (沖縄県女性政策室長)、幸喜徳子 (沖縄石油ガス(株)常務取締役) 平安恒政 (西原町長)

12. 運 営 「女性サミット運営要領」に基づき、西原町企画課が運営にあたる。

「女性サミット」プログラム

総司会 安里英子

13:00 (10分)	オープニング	民踊 (西原町婦人連合会)
13:10 (3分)	開会のあいさつ	町教育委員長 與那嶺 浩
13:13 (5分)	主催者あいさつ	西原町長 平安 恒 政
13:18 (10分)	来賓あいさつ	沖縄県副知事 尚 弘 子 沖婦連会長 赤 嶺 千 壽
13:28 (70分)	記念講演 テーマ「これからの女性に求められるもの」	講師 金 城 清 子
14:38 (5分)	休 憩	
14:43 (70分)	女性による意見発表	テーマ「女と男がいきいきと輝く社会をめざして」
15:53 (50分)	ディスカッション	
16:43 (17分)	フロアーからの質疑	
17:00 (3分)	女性サミット共同宣言	
17:03 (3分)	閉会のあいさつ	町助役 小 川 良 夫

お知らせ
でーびる



案内・募集

「西原町女性行動計画」の愛称を広く町民の皆さんに募集します。さわやかで夢のあるものを期待しています。(〆切十一月末)

連絡
町企画課女性係まで
九四五―四三三

おわび・訂正

広報にしはら二百四十八号(十月一日号)十一面の寄付香典返しの中で、字安室四十番地の二、金城澄さんが、米寿祝いを記念して『町社協へ五万円』は『町社協へ十万円』の誤りでしたので、おわびし訂正します。

～浦添警察署からのお知らせ～ 犯罪捜査に御協力を

警察では、11月中を「捜査活動等に対する、町民協力確保及び指名手配被疑者捜査強化月間」として町民のご協力を呼びかけております。

- 街の掲示板等に掲示された指名手配被疑者(写真)の検挙にご協力を!
- 聞込み捜査にご協力を!
- 不審者(車)を見かけたら110番を!

「税を知る週間」が始まります!

国や県、市町村は、私達が豊かで安定した暮らしができるように、色々な活動を行っています。

税金は、その活動をするための大切な財源であり、私達が共同生活を維持するための会費であるといえましょう。

そこで、広く皆さんに税の意義や役割を正しく理解し考えていただくため、今年も「この社会あなたの税がいきている」をスローガンに11月11日から17日までを「税を知る週間」とし、各種の行事が行われます。

西原町においても北那覇税務署や那覇県税事務所、町税務課の三税共同による「税金相談コーナー」が開設されます。

税の仕組みや課税、納税等、税に関することでしたら何でも御相談に応じます。

お気軽に御相談下さい。

記

日時：平成4年11月11日(水)午前10時30分～

午後4時

場所：西原町役場2階会議室

この社会あなたの税がいきている



第二回西原町文化祭

1. テーマ

「継承・創造・躍進」

2. 趣旨

各部会の優れた芸能並びに作品を広く町民に公開して芸術鑑賞の気運を高め、文化創造と振興に努めると共に、すぐれた文化の普及発展に寄与し、町民の文化の向上を図る。

3. 主催

西原町文化協会

4. 後援

西原町・西原町教育委員会・沖縄タイムス・琉球新報・沖縄テレビ・琉球放送・NHK 沖縄放送局・ラジオ沖縄・FM沖縄

5. 事業内容

舞台部門と展示部門とする。

① 舞台部門は次の部会とする。

古典音楽・民謡・洋楽・琉舞・武術
琉球箏・太鼓・

② 展示部門は次の部会別に展示する。

美術工芸・書道・華道・写真・花き園芸

6. 開催日時

舞台部門 民謡 ⇒ 11月21日(土)午後6時～9時

洋楽 ⇒ 11月22日(日)午後1時～3時

武術 ⇒ 11月22日(日)午後3時～5時

古典芸能 ⇒ 11月22日(日)午後6時～9時

展示部門 11月14日(土)～17日(火)

午前9時～午後9時

7. 開催場所

西原町中央公民館

西原町社会福祉センター

※お問い合わせ 町教育委員会 社会教育課

☎945-3655・3656

「寄付ありがとうございました」

▽字与那城二百四十番地の一大城孝市さんが、祖父孝敏さんのカジマヤーを記念して町人材育成会へ五十万円、町社協へ六十万円。
▽字我謝七百四十六番地の三大城実さんが、母順子さんの米寿を記念して町社協へ五十万円。
▽字幸地四百三十八番地、(有)丸浜興産(代表者浜元盛吉)が恵まれない子ども達に役立てて下さいと町社協へ三千五百円。

百六十九円。
▽字安室四十番地の二、金城澄さんが、米寿祝いを記念して町人材育成会へ十万円、町老ク連へ十万円。
▽字幸地七百五十番地、仲宗根仁王さん、カメさん夫婦が米寿を記念して町人材育成会へ五万円。
▽字小那覇六百三十八番地野原広和さんが、福祉事業に役立てて下さいと町社協へ十万円、町老ク連へ五万円。

高齢者生活実態意識調査のお知らせ

高齢化社会が叫ばれて久しい中、若い人口構成の本町においても、着実に高齢化の波は押し寄せてきています。

そこで、町では高齢者の方々が安心して暮らせるまちづくりをめざして老人保健福祉計画を定めることを予定しています。そのため、町在住の65歳以上の方々及び高齢者を介護されている家族の皆様を対象に、調査員(民生委員)が各家庭を回り高齢者生活実態・意識調査を実施致します。

この調査は、これからの西原町の高齢者の健康の問題そして福祉を考える大切な資料となりますので、御協力下さいますようお願い致します。

調査期間 平成4年11月1日～平成4年11月30日

※調査についてのお問い合わせは

西原町役場 福祉課 (945-5311)

11月(NOV.) 行事・祭事予定

- 1日(日) ○文化祭(西中)
 3日(火) ○文化の日
 4日(水) ○心配ごと相談 14:00 社会福祉センター(11日、18日、25日)
 7日(土) ○女性サミット 13:00 町中央公民館
 6日(金) ○町社協食事サービス 10:00 老人ホーム守礼の里(20日)
 9日(月) ○三歳児健診 13:30 社会福祉センター
 11日(水) ○挑戦大会 15:00 児童館
 ○中部地区公民館研究大会(12日まで)
 13日(金) ○母親学級 13:30 社会福祉センター(20日、27日)
 ○町社協食事サービス 10:00 町中央公民館(27日)
 14日(土) ○町役場閉庁
 ○映写会 14:00 児童館
 ○第2回町文化祭 展示部門 9:00 町中央公民館(17日まで)
 15日(日) ○インフルエンザ 9:00 町中央公民館(29日)
 18日(水) ○離乳食実習 13:30 町中央公民館
 19日(木) ○1歳半健診 13:30 町中央公民館
 21日(土) ○ビデオ会 14:00 児童館
 ○第2回町文化祭 舞台部門(22日まで)
 22日(日) ○学芸会(坂田小)
 23日(月) ○勤労感謝の日
 25日(水) ○精神保健相談 10:00 社会福祉センター
 ○年賀状づくり 15:00 児童館
 ○第8回町福祉大会 14:00 中央公民館
 28日(土) ○町役場閉庁

12月(DEC.)

- 1日(火) ○ツ反 9:30 町中央公民館
 2日(水) ○心配ごと相談 14:00 社会福祉センター
 3日(木) ○BCG 9:30 町中央公民館
 4日(金) ○町社協食事サービス 10:00 老人ホーム守礼の里
 ○クリスマス望年会(精神保健)
 5日(土) ○映写会 14:00 児童館

※都合により日程変更することがあります。

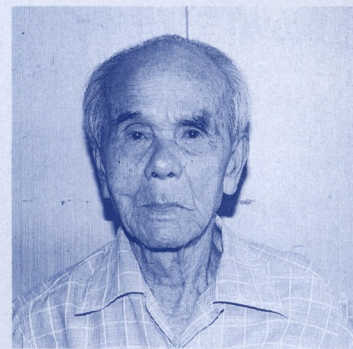


研修生の糸数ナンシーさん(右)と新川ハイメルイスさん(左)

これに対し、研修生二人は「ここで学んだことを国に帰ったら役立てたい」としっかりと日本語で話していました。

「元気で所期の目的が達成でき、本町で習得した文化や技術、言語などを帰国後、地域社会に役立てて下さい」と激励しました。

あいさつの中で平安町長は「高揚及び移住国と町との友好親善を図るためのもの。」



字翁長32番地
仲宗根三郎さん

こんにちは
「ひびく」
⑫

翁長公民館落成を喜び
朝起きると、近くの畑で野菜づくりに精を出す仲宗根三郎さんは90才。とてもその年齢には思えないほど元気です。目や耳も達者な仲宗根さんはゲートボールもまだまだ現役。部落への協力意識が高いこともあって、翁長公民館が落成したことを一番に喜んでいきます。

元気な仲宗根さんは、「食事は豆腐と野菜が大好きです」と話していました。

「学んだことを国で役立てたい」

海外移住者子弟研修生 を激励

町(平安恒政町長)では、平成四年度海外移住者子弟研修生(二人)の受け入れを八月一日からすすめています。二人の歓迎・激励会(町主催)が十月十四日午後、西原共同福祉施設で開かれ、約百人の参加者から大きな拍手が送られました。

今年の研修生は「おとうさんのふるさと西原町で勉強ができることで楽しめました」とアルゼンチンから来た二世の糸数ナンシーさん(18才)と、「サンマルコ大学で医学の勉強をしたが、日本の病院で研修したかった」とペルーか

ら来た二世の新川ハイメルイスさん(32才)。

糸数さんは異文化コミュニケーション・センター(宜野湾市)で日本語と日本文化を研修。新川さんは内科の医者でペルーでは病院に勤めていたが、今回はハートライフ病院で眼科と日本語を研修しています。

八月一日から約六か月間の研修がすすめられているこの事業は、今年が三年目。これは、町海外移住者子弟の研修生を受け入れ、技術などの習得や町民との交流を通して社会の発展に寄与する人材を育成し、併せて国際交流思想の高揚及び移住国と町との友好親善を図るためのもの。

女性サミット：11月7日(土)午後1時 町中央公民館